

橋梁については、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、効率的な修繕と維持管理コストの縮減に努め、定期点検の適正な実施により安全性を確保してまいります。

(5) 交通体系の整備

平成28年3月に北海道新幹線が開業いたしました。今後、札幌開業に向けた普及・啓発活動を、沿線自治体、各期成会および関係機関と連携しながら取り組むとともに、新幹線建設工事の円滑な推進に努めてまいります。

北海道新幹線新八雲(仮称)駅が春日地区に設置される予定ですが、平成30年度に策定した基本計画をもとに、新駅へのアクセス道路、新駅からの二次交通、ソフト対策など、新駅周辺整備にかかる具体的な内容について、検討を進めてまいります。

現在、国・北海道・沿線自治体により路線バスの運行を維持しておりますが、少子高齢化・人口減少が進展していくなかにあつて、買い物や病院などの移動手段の確保は重要な課題であることから、八雲町全体の地域公共交通のあ

り方について、八雲町地域公共交通会議を開催し、検討を進めてまいります。

(6) 上・下水道の整備

水道事業は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、「八雲町水道事業ビジョン」に基づき、老朽化した井戸や配水管の更新および施設の延命化を図るための修繕等を行うほか、経営戦略の策定に向けた検討を開始いたします。

また、平成30年度より八雲地域簡易水道事業と上水道事業を統合しており、今後より効率的で健全な事業運営に努めてまいります。

下水道事業については、八雲地域においては八雲下水浄化センターの長寿命化事業を実施中であり、平成31年度は引き続き水処理施設機械設備の更新を行ってまいります。

熊石地域においては、平成30年度完了予定でありました鳴神地区の管渠新設工事を行うほか、今後の管渠整備については、人口動態や費用対効果を勘案し、施設整備の見直しを図ってまいります。

農業集落排水事業については、落部地区排水処理施設の

長寿命化を図るため、計画の推進に努めてまいります。

また、下水道整備区域外については、水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽による水洗化の推進を図ってまいります。

真萩ポンプ場については、長寿命化計画に基づき、電気計装設備の更新を平成30年度に完了してはいますが、その他の機械機器関係についても、計画的な維持補修を行い、施設の長寿命化を図ってまいります。

熊石地域簡易水道については、計画的な水道老朽管の更新を行うほか、相沼泊川地区浄水場整備事業では、紫外線滅菌処理設備等工事を行い、水の安定供給に努めてまいります。

(7) ごみ処理等の環境整備

究極的な目標であります、ごみを資源として活用する「ごみゼロ社会」の実現は、長年の課題でもあり、八雲町としても目指すべき目標としております。

今後、ごみの排出抑制など、減量化および資源リサイクルに向けて、循環型社会の

推進に取り組んでまいります。が、「ごみゼロ社会」を目指すためには、町民皆さま方のご理解とご協力が必要不可欠であり、今後も引き続き啓発に努めてまいります。

下水道汚水・し尿・浄化槽汚泥の処理一元化を行うための、汚水処理施設共同整備事業(ミックス事業)については、来年度の供用開始に向け、施設の整備工事を行ってまいります。

(8) 緑化・環境美化の推進

年間およそ70万人の来園者がある北海道立公園「噴火湾パノラマパーク」は、皆さまに愛される公園となるよう各



種イベントの充実を図り、美しく、楽しく、そして安全な公園であるよう管理運営に努めてまいります。

町内各公園については、各町内会等の協力を得ながら、適正な公園の維持管理を図ってまいります。

(9) 防犯・交通安全の推進

交通安全運動の展開と、幼児や高齢者、児童・生徒に対する交通安全教育を推進し、交通安全意識の高揚を図るとともに、地域住民が犯罪にあわないよう防犯協会や自主防犯パトロール隊などの関係団体と連携を図りながら、パトロール活動や街頭啓発活動を推進し、町民が安心して暮らすことができる地域社会の実現のために取り組んでまいります。

オレオレ詐欺、還付金詐欺などの特殊詐欺や、悪質商法による消費者の被害が後を絶たず、年々その手口が巧妙化してきております。引き続き、広域化による消費生活相談体制等を継続するとともに、町民への注意喚起と情報提供を行い、学習機会の充実に努めてまいります。